

(別紙)

第三者評価結果

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>原町みどり保育園の案内の中に、設置者である日光市の保育理念及び保育方針、保育目標が明文化され、更に当保育園としての保育目標が盛り込まれている。これらは、職員・保護者に年度始めや入園時に配布・説明をして周知を図っている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント>事業経営における情報の収集については、専門誌の購読や市（行政）との密接な情報交換など、連携を強力にすることでの確に把握されている。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント>経営状況の課題については、事務事業チェックシートや予算執行状況を毎月実施し、それらを分析のうえ課題改善に取り組んでいる。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント>公立保育園ということで、行政である第2次日光市総合計画及び日光市子ども・子育て支援事業計画により、子育て支援全般にわたり施策のビジョン・目標さらには現状と課題が明確にされ、目標数値に至り詳細に記載された計画が策定されている。</p>		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント>中・長期計画を踏まえて年度当初に見直し等を実施し、事業計画が策定され、当年度の目標が達成できるよう、その実行に取り組んでいる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		

6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント>計画策定にあたっては市公立保育園全体で形式が統一されたうえ毎年見直し等が行われ、園長が職員から意見・提案を徴する機会を設けるだけでなく、市当局の指導・協力により策定し組織及び職員の意向が反映され、職員の理解が図られている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント>事業計画及び事業計画に基づいた年間行事計画は、年度当初の保護者会総会時に配布・説明をし周知して、理解を図っている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント>保育サービスの質の向上に向けた取り組みとして、市独自の「日光市自己評価チェックリスト」により年4回自己評価を実施し、職員個々の課題が明らかになっているが、それらの改善策についての検討が未実施である。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント>自己評価チェックリストにより集計・分析は行っているが、改善策を作成するには至っていない。</p>		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント>管理者の役割と責任については事務分掌表や業務分担に記載され、職員会議や保護者会に於いて表明して理解を図っている。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>遵守すべき法令の収集はパソコンや書籍により得る事や、行政からの通知や通達文については、職員会議で周知のうえ理解を図っている。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c

<p><コメント>管理者は日常の保育の様子を観察し、園長としての提案を職員会議で伝え職員が納得した上で業務を行い、また職員からの問題提起等があった場合にも検討し改善に取り組み、指導力を発揮している。</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a・①・c</p>
<p><コメント>事業経営の改善等については市行政と密に連絡・連携を図り、必要に応じて予算要求や人事についても必要人数の配置を要求している。園全体の取り組みとして、予算範囲内で執行出来るよう職員に周知し理解を図っている。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	<p>a・①・c</p>
<p><コメント>日光市人材育成基本方針が策定されており、その方針に沿って計画の実行に向け市行政と連携を密にし、職員確保や定着について取り組んでいる。</p>		
15	<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	<p>a・①・c</p>
<p><コメント>人事評価マニュアルにより市行政の担当課長による全職員のヒアリングを実施し、職員の意向を聴取したうえで業績評価として目標策定・中間評価・期末評価があるが、それらを基に園長による1次評価、担当課長による2次評価を経て、人事考課を実施している。</p>		
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
16	<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	<p>a・①・c</p>
<p><コメント>市行政の担当課長によるヒアリング時の意向の把握や、日常の業務の中で職員が園長に対して常に何でも気軽に話せる雰囲気があり、職員の就業に関する相談や保育に関する意見等はいつでも言える環境づくりがあり、職員の働きやすい職場づくりを目指し、取り組んでいる。</p>		
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
17	<p>Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	<p>a・①・c</p>
<p><コメント>日光市人材育成基本方針に沿って職員個々の業績評価シートがあり、その中に目標項目・目標水準・具体的方針・業務ウエイト・難易度が示され、それらを基に職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている。</p>		
18	<p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	<p>a・①・c</p>
<p><コメント>日光市人材育成方針の中で、各研修に関する方針や計画が策定されている。園においても研修計画が策定され、職員の研修参加機会を設け、質の向上に向けた取り組みを行っている。</p>		
19	<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	<p>a・①・c</p>

<p><コメント>市行政の研修参加は義務付けであるが、その他外部研修についても参加しやすい環境を作り、積極的に研修の機会を確保している。参加出来ない職員については、内部研修として研修報告により職員全体で知識の共有を図っている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・b・c
<p><コメント>実習生受け入れについては、受け入れマニュアルが整備され、方針・手順も明文化されており職員及び保護者にも周知を図っている。指導プログラムや実習の反省に至るプロセスが用意され、実習生の育成について効果が上げられるよう積極的な取り組みを行っている。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント>保育園の情報は、市ホームページや広報にっこうで公開されている。また、市保育施設情報ガイドや子育て支援サービスガイドブック（すくすく子育てにっこり日光）を各公共施設等に置き、情報提供を行っている。</p>		
22	<p>Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント>公立保育園であり定期的に県及び市の監査を受け、指導を受けた事柄について改善に努め、透明性の高い運営を図っている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>		
23	<p>Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>子どもが地域の行事に参加する等、出来るだけ地域の人々との交流が持てるよう図られている。特に近隣の小学校や老人施設等と積極的に交流を図っている。</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント>中・高生の職場体験は実施されているが、ボランティアの受け入れについては基本姿勢等、明文化されていない。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a・b・c
<p><コメント>保育園として保育サービスに必要な社会資源について一覧表にまとめ、事務室に貼付され連携が取れる体制が出来ている。特に近隣の小学校との間では連絡会が組織され、定期的に</p>		

情報交換が行われている。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・ ㉔ ・c
〈コメント〉市行政からの情報把握や、日常の保護者との会話や年齢別統計表等を活用して、地域の保育ニーズの把握に努めている。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ ㉔ ・c
〈コメント〉地域の子育てニーズに基づいた事業として子育て相談事業を実施し、地域の人達からの育児に関する問題等について、積極的に取り組んでいる。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ ㉔ ・c
〈コメント〉利用者を尊重したサービス提供の基本姿勢が保育理念や保育方針に明示され、職員の共通理解が図られているほか、自己評価チェックリストを活用するなど日常の保育サービスに反映されている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・ ㉔ ・c
〈コメント〉子どものプライバシー保護に関しては、日光市個人情報保護条例に基づきプライバシー保護に取り組んでいるほか、「児童のプライバシーについて」・「プライバシーポリシー」等のチラシを職員に配布し、共通理解を図っている。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉔ ・b・c
〈コメント〉日光市のホームページに記載されているほか、保育園の保育理念や方針・目標等の基本姿勢・行事・保育園の1日などを分かりやすく紹介した冊子「施設情報ガイド」や、「入園のしおり」が各公共施設等に配置され、誰でも情報が入手できるようになっている。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉔ ・b・c
〈コメント〉入園希望者には「入園のしおり」や申請書等を利用し、それに沿って丁寧に分かりやすく説明・確認をして保護者の同意を得た上で入園の運びとなっている。また、必要があれば園見学も併せて行っている。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・ ㉔
〈コメント〉日光市公立保育所においては児童票の引継ぎ等を基に保育の継続性を配慮されい		

<p>るが、民間や市外の保育園には必要に応じて対応している。また、退園における保育の継続については口頭で相談窓口等の情報は提供しているが、退園について文書等は定めておらず、不十分である。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足向上に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㉔・c
<p><コメント>利用者満足向上を目的として保護者の保育参観や保育参加時のほか、保護者個別面談会に於いて意見交換や保護者の意向を把握し、子どもの個別支援に役立てている。また行事の際にはアンケートを実施している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㉔・c
<p><コメント>苦情解決の仕組みは整備されており、ご意見箱の設置・苦情解決責任者・受付担当者を置のうえ第三者委員も設けられ、保護者には書面を配布するなど周知が図られている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・㉔・c
<p><コメント>保護者会総会時に自由に意見が述べられる環境である事を周知し、送迎時の相談や「おしえてねBOX」を設置しているほか、個別面談を通して保護者の意見意向を把握している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㉔・c
<p><コメント>保護者からの相談や意見に対して、日頃より迅速な対応を心掛けて取り組んでいる。対応については連絡帳や送迎時など、園長及び全職員が共通認識を図り対応している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・㉔
<p><コメント>保育園内のリスクについては日常的にチェックして園内ヒヤリハットマップを作成している。ヒヤリハット事故報告書に記入のうえ、職員共有のもとに検討し対応しているが、園舎の老朽化の問題等もあり限界がある。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㉔・c
<p><コメント>感染症予防マニュアルが整備され、発生時の子どもの安全確保の体制整備もあり、保護者への情報提供も併せて実施している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・㉔
<p><コメント>災害時の安全確保について避難訓練等は実施しているが、園舎の立地条件が住宅密集地であることから通園道路の狭さ等外的要因が問題である。火災や地震による災害等、安全を脅かす事態の発生は想定外のことであるが、日常の子どもの安全確保のシミュレーションを欠かすことなく対応出来るよう期待する。また、日光市役所との十分な協議が必要である。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ b ・c
＜コメント＞子どもの個性を尊重して個々の保育が標準的に実施され、その方法は原町みどり保育園独自で作成・文書化し、提供されている。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ b ・c
＜コメント＞年度当初に職員会議等で意見交換と確認をして見直しを実施し、保育の提供がされている。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ b ・c
＜コメント＞アセスメントに関する手順を組織として定め、その手順に従って指導計画書を策定し、個々の子どもについての特性に応じた課題・目標を指導計画に記載、また実施された対応策を記録し、その結果を児童票に記載している。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ b ・c
＜コメント＞子ども一人ひとりに着目した指導計画は、担任・主任・園長という組織体制の合議のもとに策定され、定期的に評価見直しを行い職員に周知してサービスが展開されている。また、乳幼児に関する指導計画については保護者に提示のうえ説明して意見交換し、共通理解を得て取り組んでいる。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ b ・c
＜コメント＞子ども一人ひとりの個別計画書を作成し、その記録をもとに職員間で共有している。個別計画書は、乳児は毎月・幼児は4期で作成され、保護者に説明のもと確認し、反省や振り返ることで次の計画に反映されるよう記録している。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ b ・c
＜コメント＞子どもに関する記録の管理は文章管理規程があり管理されている。記録の個人情報の取り扱いについては、市個人情報保護規程に基づき対応する事を、入園時や保護者会にて文書を配布して保護者に説明している。情報が入っている児童票は鍵の付いた書庫で適切に管理されている。		

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		

A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>日光市立保育園統一の保育理念や方針・目標に基づき保育課程が編成されている。毎年時期を定め職員が各年齢（クラスごと）の評価をして、保育課程を編成している。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>施設及び遊具等、チェック表や安全点検簿で危険箇所・室内温度・湿度など、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。しかし、施設等の老朽化により施設環境が損なわれる所があり、これらについては尚一層の対応の検討を期待する。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>子ども一人ひとりの家庭状況や生活リズム・育ち・気持ちを受け止めて保育が行われ、職員間で共通理解をしながら個別計画書を作成している。自己評価チェックリストに取り組み、職員が日々の自分の保育を振り返り、次の保育に生かして保育を行っている。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>子ども一人ひとりの発達状況や、子ども自身でやろうとする気持ちを育み、健康で安全な生活に必要な基本生活習慣を身につけることができるよう、保護者の意見や協力を得ながら、出来た時の達成感を味わえるよう援助している。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>子ども一人ひとりの年齢や育ちにより、保育環境を整えている。家庭での環境については、保護者と連絡や連携を密にして子どもが主体的に活動できるよう取り組んでいる。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>入園時に子どもの家庭での様子や、アレルギー等について保護者より詳細に聞き、育ちに合わせた個別計画書を作成するなど家庭的な雰囲気大切に、特に乳児保育については十分なスキンシップや、ゆとりを持った保育を行っている。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ㊦ ・c
<p><コメント>子どもの発達段階に応じた個別計画に基づき、一人ひとりの状態や気持ちに寄り添った保育をしている。子ども一人ひとりの育ちをクラス職員で評価を行い、次の月への計画に反映できるよう保護者と連携を図っている。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ㊦ ・c

<p><コメント>子ども一人ひとりの発達に応じた個別計画に基づき、日々の活動や体験の中で達成感や自己表現・思いを伝え合う楽しさなど、子どもの育ちを支えながら年齢に応じた保育を行っている。その様子や育ちを評価・チェックして次への計画に反映している。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント>家庭や医師・保健師等と連携し、発達状況に応じた個別計画書を作成のうえ、留意点を把握しながら保護者と職員（担当者）が連携して保育が行われている。職員は必要な知識や情報を得るため研修会に参加して、その結果を園内研修で周知し職員全体で共有を図っている。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント>延長保育については、保育マニュアルに沿って保育を行っている。保護者への伝達等には引継ぎノートを活用して支援している。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p><コメント>幼保小連絡会を通して、小学校との行事や交流により子どもの成長の姿を確認し、行事以外にも学校訪問等も保育に取り入れ連携を深め、小学校教諭も保育園観察や意見を交換して、情報の共有を図っている。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント>入園前の健康診断結果から一人ひとりの既往症や健康状況を確認し、職員間で共有を図り保健計画書を作成している。また、毎月「ほけんだより」を保護者に配布し連携を密にしており、園での健康状況や家庭での状況については、連絡帳を用いて連絡している。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p><コメント>健康診断・歯科診断の結果は保護者に伝達するとともに職員間で共有し、医療機関への受診促進を図っている。特に年中長児は保健師の指導を受け親子歯磨きを実施し、歯の大切さを学習している。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント>アレルギー疾患や慢性疾患等については保護者より聞き取り、かかりつけ医師の指導のもと適切な対応をしている。市統一のアレルギー対応ガイドラインに対応するとともに、調理師や他の職員間への周知を図り、迅速に対応している。</p>		
<p>A-1-(4) 食事</p>		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
<p><コメント>年間食育計画を作成し、子ども一人ひとりの嗜好・食事量を把握のうえ食事が楽しめるよう献立や調理を工夫し、食材も季節感により野菜の栽培・収穫をして食べるなど、毎月</p>		

の食育会議で食事の様子を話し合い、その結果親子クッキングも実施している。		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・ b ・c
<p><コメント>市の管理栄養士が献立表を作成し、毎日の写真付きメニュー表が提示され、毎月の食育会議で食事の様子や意見などを話し合い次月に繋げている。また、野菜など季節や旬の食材を取り入れて食事を提供している。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント>日々の送迎時や連絡帳を活用して家庭との連絡を行うほか、保育参加・参観・行事などで情報交換するとともに、個別面談を通して意見要望を伺い、家庭との連携を図っている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント>保護者が安心して子育てが出来るよう、様々な機会を利用して保護者と情報を共有し、同じ方向で子育てが出来るよう取り組んでおり、相談等は記録化され相談に応じて適切な対応をして支援している。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・ b ・c
<p><コメント>日々の保育活動の中で一人ひとりの言動や身体的な変化に注意を払い、チェックリストにより早期発見・早期対応に努めている。気になる子どもについては、保護者の送迎時に家庭の様子にも注意をして、児童虐待マニュアルに基づき関係機関と連携して迅速に対応している。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・ b ・c
<p><コメント>職員は毎年チェックリストで保育業務全般の自己評価を実施しており、評価結果の分析や問題点について職員会議で話し合われているが、保育実践の改善までには生かされていない現状である。</p>		